

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年02月06日

計画の名称	鷺山中洲地区における安心・安全で快適に暮らせるまちづくり												
計画の期間	平成31年度～平成35年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	岐阜市												
計画の目標	都市におけるまちづくりとして、未整備の都市計画道路や区画道路、公園など公共施設の配置と併せて良好な宅地を整備する土地区画整理事業の推進により、円滑で安全な交通の確保や、安全な歩行者空間の確保、緊急車両の進入路及び走行路の確保、地域のコミュニケーションの場の確保など地域の課題を解決をすることで、子どもからお年寄りまで多様な世代が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを実現する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,683	A	2,683	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (H35末)
1	安全で円滑な交通空間の確保に資する公共用地率を9.0%から15.0%に増加する。 交通空間に資する公共用地率 〔公共用地面積(ha)〕 / 〔施行地区の面積(5.6ha)〕	9%	%	15%
2	歩行空間の確保に資する歩道整備率を15.0%から20.0%に増加する。 地区内における歩道の整備率 〔地区内の歩道が整備された道路の延長(m)〕 / 〔地区内道路の総延長(m)〕	15%	%	20%
3	区画道路を整備することにより、緊急車両が容易に侵入することが可能となり、消防活動困難区域をなくす。 消防活動困難区域面積 〔消防活動困難区域面積(ha)〕 / 〔施行地区面積(5.6ha)〕	5%	%	0%
4	優良な住宅環境を整えることにより、地区内の市街化率を増やす。 市街化率 〔建築物敷地面積(ha)〕 / 〔地区内宅地面積(ha)〕	27%	%	30%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H1	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-002	市街地	一般	岐阜市	間接	組合	-	-	鷺山中洙地区都市再生区 画整理事業	5.6ha	岐阜市		■	■	■	■	1,491	2.8	-
											小計						1,491		
											合計						1,491		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

岐阜市担当部局にて実施

事後評価の実施時期

令和7年10月

公表の方法

岐阜市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

土地区画整理事業により、移転補償、区画道路工事が随時進められている。事業途中であるため、指標の達成には至っていないが、事業終了時点においては、指標の目標値を達成できる見込みである。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

第2期計画においても、引き続き移転補償および区画道路工事を行い、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを進める。

○目標値の達成状況		
番号	指標(略称)	
	目標値/実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	交通空間の確保に資する公共用地率の増加	
	最終目標値	15%
	最終実績値	9%
土地区画整理事業が完了しておらず、地区内で道路工事を進めている途中であるため。		
2	歩道空間の確保に資する歩道整備率の増加	
	最終目標値	20%
	最終実績値	15%
土地区画整理事業が完了しておらず、歩道整備予定の都市計画道路の築造が行われていないため。		
3	区画道路整備による消防活動困難区域の減少	
	最終目標値	0%
	最終実績値	0%
地区内の区画道路工事が一定程度進み、消防活動困難区域が減少したため、目標値を達成した。		
4	住宅環境の整備による市街化率の増加	
	最終目標値	30%
	最終実績値	27%
土地区画整理事業が完了しておらず、宅地予定地である保留地の造成、販売を進めている最中であるため。		